

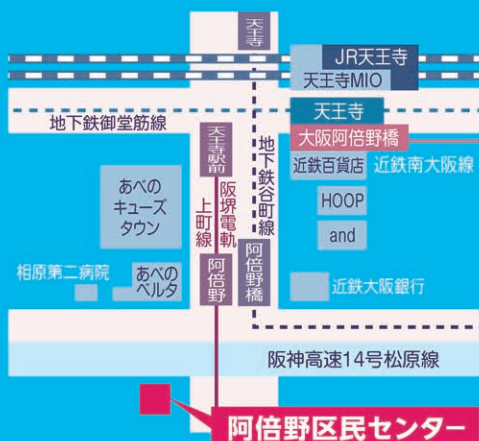
開催日

2014年

10月5日 日

場所

阿倍野
区民センター



MAP

地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口 徒歩3分
 阪堺上町線「阿倍野」
 地下鉄御堂筋線「天王寺」徒歩10分
 JR「天王寺」徒歩10分

● 臨時保育所あります ●

午前の部 10:00~12:00

原発ゼロ活動交流集会 **ホール・フロアー**

12:00~13:30

原発ゼロ文化祭 **ホール前ホアイエ**

展示と書籍・物品の販売 **ホール前広場**

午後の部 13:30~16:00

福島現状を学び、**ホール**
新たな発展をめざすつどい

「福島をいま語る」

福島原発避難者訴訟原告団長
はやかわ とくお

早川 篤雄さん

(福島県楡葉町の宝鏡寺住職)

資料代
500円

学生
障がい者
無料

原発ゼロの会・大阪

原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会

〒540-0026 大阪市中央区本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

電話 (06)6949-8120 FAX (06)6949-8121

メール info@genpatsuzero-osaka.com ホームページ http://genpatsuzero-osaka.com/

原発ゼロの会
大阪
発足3周年
記念の
つどい

子どもたちの
未来のために

なくそう原発！ すすめよう自然エネルギー

福島第1原発の事故から3年半が経ちましたが、現地では今も汚染水問題がますます深刻、事故の真相も未解明、14万人もの人が避難生活、仮設住宅での生活を強いられています。そんな実態を教訓に、大飯原発運転差止請求の裁判で福井地裁は、人の生命・生存こそ何ものにもかえ難い最高の価値を持つも

の、それを脅かす危険性が万に一つでもあれば、運転は差し止められて当然とし、“大飯原発3・4号機を運転してはならない”との判決を下しました。これこそ私たち国民の願う判断です。原発ゼロ・自然エネルギー推進の世論と運動を高め、原発の再稼働や海外輸出をやめさせ、原発ゼロの日本を実現しましょう。

原発ゼロの会・大阪

発足3周年 記念のつどい 10月5日(日) 阿倍野区民センター

午前の部 10:00~12:00

● 原発ゼロ活動交流集会 **ホール・フロアー**

“あんな活動、こんな取り組み”、悩みも含めて持ち寄り原発ゼロの運動を粘り強く広げよう。

12:00~13:30

● 原発ゼロ文化祭 **ホール前ホアイエ**

書道・絵画・絵手紙・写真・タペストリーなどの展示

● 展示と書籍・物品の販売 **ホール前広場**

太陽光発電や自転車発電、
自然エネルギー発生装置などの展示
書籍やキーホルダーなどの物品の販売

わたしも期待します！

午後の部 13:30~16:00

● 福島の現状を学び、 **ホール** 新たな発展をめざすつどい

○記念講演

「福島のいまを語る」

福島原発避難者訴訟原告団長

早川 篤雄さん

(福島県楢葉町の宝鏡寺住職)



はやかわ・とくお 1939年10月16日 福島県楢葉町生まれ(74歳)。室町時代から楢葉町に伝わる浄土宗のお寺・宝鏡寺の第30代住職。お寺は福島第1原発から15キロ圏内にあり、今も避難所生活を強いられている。現在、福島原発避難者訴訟原告団長、原発問題福島県民連絡会議代表として奮闘中。

○原発賠償関西訴訟原告団の訴え

○デンマークなどの自然エネルギーの報告

○みんなで原発ゼロコール



TwitNoNukes大阪
呼びかけ人

横山 純さん

ご存知の通り、昨年の9月から原発ゼロが続いています。これは3.11以降、さまざまな人が声を上げてきたが故に達成された、紛れも無い成果です。節目を祝いつつ、それぞれが自分自身に期待し、行動していきましょう！



原発賠償関西訴訟
原告団代表

森松 明希子さん

「放射線被爆の恐怖から免れ健康を享受する権利」は人として当然に認められるべき命にかかわる最も大切な基本的人権だと思います。「避難の権利」を憲法上の権利として確定できるまで共に歩んでくださいますようお願い申し上げます。



大阪府保険医協会
理事長

高本 英司さん

政府・電力会社ぐるみの川内原発再稼働の動き、安倍首相の恥知らずな原発セールス、それでも運動の中から生まれた大飯原発運転再開差止め命令判決、この流れを止めないためにも手を取り合って進みましょう。